

境夢みなとターミナル

境夢みなとターミナルは、通常5,000人の乗客を乗せる最大300メートル、16万トンの船舶を収容するために設計された、本格的な機能を持つ旅客船ターミナルです。2020年に完成し、海外からの旅客の出入国のための設備も備え、日本海や北東アジアへの玄関口となることを目指しています。また、境港や近隣市の人々の文化拠点としての役割も担っています。天井の高い広々とした待合室には、映画や映像イベント用の大型スクリーンが設置されており、コンサートなどのイベント時には大勢の観客を収容することができます。美保湾を一望できる展望デッキは出迎えや見送りに最適な場所で、遮るものが何もないオーシャンビューを活かして夏にはビアガーデンが設営されます。ターミナル正面の細長い庭には、周辺地域から持ち込まれた黒松の古木が9本あり、この地の創世神話を示す石が置かれています。境港では数十年前から客船観光が盛んに行われており、現在では年間60隻もの客船が入港しています。到着した旅客は地元の景色をゆっくり楽しみ、多くは松江と出雲の1日観光を予約します。